

大津市議会湖誠会 会派行政視察

令和5年7月19日(水) 14:30~16:30

鹿児島県鹿児島市 天文館図書館

鹿児島市図書館課、指定管理業者 TRC(株式会社図書館流通センター)

【はじめに】

現在大津市内には、1981年開館の大津市立図書館(現在の本館)と1993年に北部地域文化センター内に開館した大津市立北図書館がある。2002年から数年間は人口100人あたりの貸出数が全国1位、2011年(平成23年)度、子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)として文部科学大臣表彰を受けたこともあり、長年市民に親しまれ多くの利用があった。

しかし、人々の生活環境や時代の変化、また本館には駐車場がないことなどが課題となるようになり、老朽化も伴って以前ほどの活気がないのが現状となっている。

そこで「みんなをつなぐ図書館」～新しい価値を創造する、多様なつながりを育む図書館～をコンセプトに鹿児島市内中心部の天文館通にある商業施設内に令和4年4月に開館し、1年3か月で延べ100万人以上の来館者がある今話題の「天文館図書館」について視察した。

## 【所感】

天文館図書館は鹿児島市街の中心地のまさに中心の天文館商店街の入り口にあるすっきりと洗練された新しい商業施設サンクテラス天文館にあり、センターラの玄関口で「この中に図書館が??」という期待のこもった驚きを感じた。

各階にはアパレルやコスメ、雑貨の店舗が今どきの商業施設らしく並び、その中をエスカレーターで4階まで上がると、一見、カフェと広い書店のように見えるのが天文館図書館で、市が商業施設から借りている床面は他の部分と色分けしているだけで仕切りもなく非常に開放的で、おしゃれなテイストで、商業施設から急に公共施設になったというような違和感は何もない。

本に囲まれた図書館に行く、というより「居心地の良い空間に本がある」イメージであった。

書籍の量も多くはなく、どこも空間に余裕があるけれど、コーナーやフロアごとに雰囲気の違い、子どもから大人、年配の方まで各個人の好みや気分に合わせて場所で楽しめることや、子供用のカラフルな脚立がセルフ貸し出し機の横に設置してあるところなど、きめ細やかさがみられた。

それはやはり多くのパブリックコメントを収集し意見を取り入れたことが大きなポイントである。またそれが、多くの人の心をつかみ、人の集まる場所の実現に繋がったのであろう。

市と図書館のプロ TRC をはじめとする民間業者、パブリックコメント等、様々な連携を組んだことも三方良し、成功の秘訣といえる。

大津市の図書館にもクリスマスのイベントなどには、コンサートを開いて来場者が楽しむような企画をしたりして、人の集まる場所として活用するのもよいのではないかと考える。

大津市図書館も老朽化が進んでおり、将来的に改装や新築をする際には民間施設とコラボレーションすることも含めて、天文館図書館も参考にし、賑わいを創出する公共施設の一つとして一歩進んだ未来の図書館を大津にも誕生させてほしいものである。

きっと市民の自慢の図書館となることだろう。